

## 各分野別部会の報告について

### 1 開催日及び部会員

#### (1) 子育て・教育部会

開催日	第1回 平成28年7月19日(火) 第2回 7月22日(金)
部会長	源 由理子
部会員	牛嶋 大、長岡 麗奈、浅見 理絵、石倉 毅典、弘世 京子、 中村 雄介、出井 久之、加藤 佑理、渡部 大祐

#### (2) 福祉・健康部会

開催日	第1回 平成28年7月14日(木) 第2回 7月26日(火)
部会長	源 由理子
部会員	下田 和恵、中村 雄介、輪座 峯雄、岡田 伴子、出井 久之、 小野寺 加代子、青木 和雄、飯沼 典雄、村岡 公一

#### (3) コミュニティ・産業・文化部会

開催日	第1回 平成28年7月13日(水) 第2回 7月25日(月)
部会長	平田 京子
部会員	牛嶋 大、岡田 伴子、出井 久之、上田 武司、野口 眞寿、 青木 和雄、飯沼 典雄、加藤 佑理、深谷 将平、前川 哲也、 山口 一夫、石井 朋佳、富永 直、椋野 公、村岡 公一、 村田 展江

#### (4) まちづくり・環境部会

開催日	第1回 平成28年7月20日(水) 第2回 7月28日(木)
部会長	平田 京子
部会員	長岡 麗奈、弘世 京子、下田 和恵、上田 武司、岩永 有礼、 青木 和雄、飯沼 典雄、前川 哲也、石井 朋佳、富永 直、 椋野 公

### 2 基本構想実施計画(29~31年度)の今後3か年の方向性及び指標(案)に対する各部会での主な意見

別紙のとおり

## 基本構想実施計画（29～31年度）の今後3か年の方向性及び指標（案） に対する各部会での主な意見

### 1 子育て・教育部会

#### (1) 子育て支援

##### ア 今後3か年の方向性

###### 【保育の質】

- ・保育教育の質的向上についての記載があるとよい。

###### 【乳児家庭全戸訪問事業】

- ・訪問は1回で十分か。また、自宅訪問だけでなく、ITを活用した施策等、対象者の不安な気持ちを軽減できる施策も含め、示すべきである。

###### 【待機児童対策】

- ・私立保育所に焦点を当てる理由や、私立保育所の運営上のリスクは何か。
- ・保育所への入園が待機となった家庭に対する支援策はあるのか。

###### 【その他】

- ・子育て支援施策の対象範囲はどこか、整理するほうがわかりやすい。
- ・より具体的な表現にしてほしい。

##### イ 指標

###### 【妊婦全数面接の実施率及び乳児家庭全戸訪問事業の訪問率（%）】

- ・訪問することが目的になりかねない指標であり、利用者満足度といった質的なものを加えることはできないか。
- ・出生率の増加が予測されている中、訪問率を向上させるため、どんな工夫をするのかを記載する方がよい。

###### 【保育サービス事業量（人）】

- ・私立保育園を取り込むための政策を評価してはどうか。
- ・子育てしやすいまち、共働きができるまちを実現するのであれば、待機児童数を目標に設定すると、魅力的に見えてくるのではないか。

###### 【保育園・幼稚園利用者の保護者満足度（%）】

- ・アンケートは、無記名にしてほしい。
- ・私立保育所の整備を進めるのであれば、私立保育所や私立幼稚園にも満足度を測るアンケートを実施してはどうか。
- ・保育所への入園が待機となった世帯からも、区の子育て支援施策に対する意見や満足度を聞き、指標に入れてはどうか。
- ・アンケートは、インターネット等の活用も図るべきである。

### 【その他】

- ・児童相談所の移管や子ども食堂の支援等、現状を示す関連データを指標に入れてはどうか。
- ・現状のまま予算を執行していけば達成できてしまうレベルの指標もあるのではないか。
- ・区の実績だけでなく、比較できる全国値等も記載できないか。
- ・インターネット等を活用して、政策に対する満足度を質問できるのではないか。
- ・放課後全児童向け事業の「利用者満足度」を指標にしてはどうか。

## (2) 教育

### ア 今後3か年の方向性

#### 【地域とのつながり】

- ・中学生が商店街での英語メニューを作成したり、NPO団体が中学生に教育をしたりする等、他の施策と絡めて、地域とのつながりが見える取組もいいのではないか。

#### 【学力】

- ・小学校と中学校において、全国学力・学習状況調査の授業理解度が国や都の数値を上回っているのを、区としてどう評価しているのか。

#### 【幼・小・中の連携】

- ・区立中学校への進学率が高くない中、幼・小・中が連携する意義は何か。区立中高一貫校の整備の方が魅力的ではないか。

#### 【その他】

- ・児童や生徒が自らの存在価値を感じた上で、教育が出発しないとけない。人間としてどう生きるかということ、幼いときから教えることも大切である。

## イ 指標

### 【全国学力・学習状況調査における国語・算数（数学）の授業理解度（%）】

- ・授業理解度は点数に現れる。直接的な手法で定量化すべきである。
- ・授業理解度や体力を向上させるため、どのような取組を進めていくのか、その過程を記載してほしい。
- ・国語と算数（数学）の理解度だけでなく、ICT教育の内容を評価してはどうか。

### 【「人の役に立つ人間になりたいと思う」項目における肯定度（%）】

- ・「豊かな人間性の育成」は目指すべきものが不明確であり、指標が目標とマッチングしているのか、疑問である。

- ・ボランティア活動への参加や、就きたい職などの質問の方が、わかりやすいのではないかと。

#### 【関係機関と関わっていない不登校児童・生徒の率（％）】

- ・不登校を発生させないことが、最も重要なのではないかと。
- ・不登校児童・生徒を減らすことを目標にしないでほしい。不登校にはいろいろな理由があるため、社会的自立と学校復帰を並べてほしい。
- ・関係機関が連携して対応することによって、対象の児童が何らかの形で立ち直っていけるといふ、ストレートな設定の方がよい。

#### 【その他】

- ・情報化やグローバル化を測る指標を入れてはどうか。

### (3) 青少年の健全育成

#### ア 今後3か年の方向性

##### 【子どもたちの現状】

- ・インターネット等によるコミュニケーションが常態化する中でも、子どもたちは社会性を身に付けるためのわずかな機会を探そうとしている。子どもたちの現状に沿った、前向きな表現で記載すべきである。

##### 【地域団体】

- ・青少年健全育成会のほかにも、少年野球やサッカー等、様々な活動が見えるような文章表現にはできないかと。

##### 【社会性】

- ・学校教育でも、地域のことを学んだり高齢者等との異年齢交流をしたりすることで、社会性を身に付けることができるのではないかと。
- ・b-lab（青少年プラザ）以外にも、青少年が社会性を身に付ける機会を多く設けることが大事である。

##### 【遊び場】

- ・「安全に安心して暮らせる環境を整える」ため、施設開放や場の確保を積極的に進めていただきたい。

##### 【子ども110番ステッカー】

- ・危険な場面で、実際に子どもたちが協力者の家等に駆け込むことができるよう、意識させることが重要である。
- ・協力者の高齢化やマンションの増加等、協力体制において課題がある。
- ・児童館等がステッカーを活用した防犯事業を行っているケースもあり、ステッカーが数多く貼られることは、地域の防犯意識の向上や犯罪の抑止効果にもつながっている。
- ・ステッカー貼付場所を地図化してアプリを作ってはどうか。

### 【b-1ab（青少年プラザ）】

- ・大学との連携を図り、大学の講義を受けたり、大学生とコミュニケーションを図る場を設けてはどうか。

### イ 指標

#### 【青少年健全育成会や NPO 等が実施する事業への青少年の参画者数（人）】

- ・青少年健全育成会以外が主催する事業に、青少年が参加している実態をどの程度把握できているのか。より、総合的な評価が必要である。
- ・年間約 400 人という目標値の妥当性がわからない。
- ・質的な側面から、子どもたちの事業への関わり方にも目を向ける必要がある。

#### 【子ども 110 番ステッカー事業の協力件数（件）】

- ・毎年 10 件増加させることが、妥当なのか。
- ・青少年自身が、地域に温かく見守られている実感があるかどうかが大変である。アンケートを実施して、把握してはどうか。

#### 【b-1ab（青少年プラザ）の利用者数（人）及び利用者満足度（%）】

- ・実際は、利用者が固定になりがちなのではないか。リピーターが多いこともいいが、広がりも大事である。

## 2 福祉・健康

### (1) 高齢者福祉

#### ア 今後3か年の方向性

##### 【施設】

- ・高齢者あんしん相談センターの利用方法が、わからない高齢者が多い。
- ・高齢者が増加する中、高齢者あんしん相談センターは、現在の本所・分室だけで足りるのか。
- ・特別養護老人ホーム以外の施設も含めた、様々な施設の選択肢を持つほうがよい。
- ・医療機関や高齢者あんしん相談センターの近くに、高齢者向け住宅を集約し、整備する施策を展開してはどうか。

##### 【見守り・支え合い】

- ・相談や支援を受けることに、抵抗を感じる高齢者もいる。
- ・地域住民とのコミュニケーションの充実を図り、地域の見守りを強化すべきである。
- ・比較的元気な高齢者同士が、支え合う社会を目指す施策を展開されたい。
- ・一人暮らしの高齢者が病気になったときの支援に、課題がある。地域で見守ることができる仕組みを整備できないか。
- ・大学や医療機関といった地域の社会資源との連携を図るべき。
- ・シルバーピアの見守り機能が低下しているように感じる。

##### 【その他】

- ・家族構成で高齢者を分類し、それぞれに施策を展開する方がよい。

#### イ 指標

##### 【高齢者人口に対する高齢者あんしん相談センターの相談者数（実人数）の割合（%）】

- ・相談者数の増加が良いことなのか。本質的に目指す状況は、相談が無くなることではないか。数が増えることが、必ずしも充実ではなく、それを解決したときに、本当の高齢者あんしん相談センターの意義がある。
- ・相談内容や相談者の属性を、指標に加えることはできないか。

##### 【特別養護老人ホーム入所希望者名簿に登録された数（人）】

- ・施設サービスや在宅サービスの時間帯が短く、家族の負担が多い。時間的なものも解決されなければ、特別養護老人ホーム入所希望者数の減少は望めない。
- ・入所者の満足度や在宅を要望する人数を指標にできないか。

【基本チェックリストに回答した75歳以上84歳以下の高齢者のうち、生活機能の低下がみられると判定される人の割合（%）】

- ・高齢者の公開講座やスポーツイベント等の社会活動、健康診断への参加に関する数値を指標にできないか。

## （2）障害者福祉

### ア 今後3か年の方向性

#### 【地域・医療機関】

- ・精神障害のある高齢者が地域住民と仲良く暮らすためには、医療機関との連携が不可欠である。
- ・特に精神障害の人については、地域や医療機関と連携した地域の見守り環境の整備が重要である。

#### 【理解・教育】

- ・グループホームの建設は、障害者に対する地域の理解度を示す。
- ・心のバリアフリー教育を、子どものときからしっかり行うべきである。
- ・障害者差別解消法が施行されても、人間的な何か深いところにある差別問題は、そう簡単に直らない。大切なのは、差別を受ける者の痛みを理解することである。

#### 【就労支援】

- ・障害者を雇用する企業が、区内に増えるとよい。

### イ 指標

#### 【障害者の就労継続者数（人）】

- ・良い指標である。
- ・障害者が就労できる企業数、その就労継続率を指標にできないか。

#### 【その他】

- ・バリアフリーが進んでいる中、障害者の地域交流を測る指標を設定できないか。

## （3）生活福祉

### ア 今後3か年の方向性

#### 【子どもの貧困】

- ・子どもの貧困問題が今日取り上げられることが多く、次期基本構想実施計画において、触れるべきである。

### 【就労支援】

- ・区独自で行っている就労支援はあるのか。
- ・家庭環境に即した支援が必要である。

### 【その他】

- ・生活困窮になった原因やその実態を調査・分類し、情報を公開することで、行政だけでなく、事業者による支援も生まれるのではないか。

## イ 指標

### 【生活困窮者自立支援事業利用者のうち、就労自立した人の割合（％）】

- ・就労が、自立している状態であるとは限らない。自立できない根本的な理由や自立までの過程を示す指標があると良い。
- ・就労自立した人が体験談を話し、まだ就労していない人がその話を聞くような機会を設け、それぞれの人数を指標に入れると、より具体的な状況が思い浮かぶのではないか。
- ・就労自立事業で就労自立した人の割合は、指標としてよい。

### 【その他】

- ・必ずしも定量的に測れないものもある。

## (4) 健康づくり、(5) 生活環境衛生

### ア 今後3か年の方向性

#### 【検診・予防】

- ・がんや生活習慣病については、早期発見が重要である。
- ・がん検診は全ての種類を網羅するものではないため、個別のがん検診に対する施策が重要である。
- ・予防接種副作用の被害補償制度をしっかりと整備すべきである。
- ・麻しん・風しんワクチンの接種率を向上させる具体策はあるのか。

#### 【健康づくり】

- ・若年層の健康意識を醸成させることが重要である。また、病気の発見よりも、健康な体をつくることが重要である。
- ・禁酒や禁煙は、健康づくりに欠かせないため、促進してほしい。
- ・高齢者には、ウォーキングがよい運動であるが、場所がない。
- ・高齢者でも自由に参加できる体操の機会を、充実してほしい。
- ・スポーツセンターの改修期間、代替えの場所を整備してほしい。

#### 【在宅医療】

- ・在宅医療が進んでいる地域もあれば、そうでない地域もある。関わるドクターが、いるかないかで、分かれてしまうのではないか。



### 【生活衛生環境】

- ・カラスやネズミに対する対策を、区はしているのか。

### 【データの利活用】

- ・大学病院等との連携を進め、検診結果に関するデータを予防対策に有効活用することはできないか。

## イ 指標

### 【各種がん検診の受診率（%）】

- ・がん検診だけでなく、生活習慣病の検診受診率を指標に入れることはできないか。

### 【犬に関する苦情件数の割合（%）】

- ・犬だけでなく、猫も対象とすることはできないか。

### 【その他】

- ・スポーツセンターの利用率を指標にできないか。
- ・生活予防教室の参加者数と参加者の健康意識向上数を、両方指標にしてもいいのではないか。

### 3 コミュニティ・産業・文化部会

#### (1) 地域コミュニティ

##### ア 今後3か年の方向性

###### 【町会・自治会】

- ・区の支援がないと、町会への加入促進は進まない。
- ・町会の会計資料や会報等を町会相互で共有化を図るなど、町会役員の負担を軽減するサポート体制を構築していただきたい。
- ・町会の数や区域がわからないため、地図化していただきたい。
- ・区報には多くの内容が記載されているため、自分が住む地域でどのような活動をしているのか把握しにくい。区報をより見やすくしてほしい。
- ・若い世代の地域コミュニティへの参加を促進させるため、スマートフォン等を活用した「コミュニティの見える化」を図ってはどうか。
- ・地域の祭り等、イベントの情報を地図にして多くの人に周知することで、地域コミュニティが活性化するのではないか。
- ・マンション居住者の町会への加入に当たっては、マンション管理人の協力が重要である。
- ・マンション居住者は、町会に加入していることを把握していないことがあるため、加入している町会を、マンションに掲示してはどうか。
- ・マンション住民の中には、町会と関わりを持つ機会を探している人もいる。地域住民と触れ合う機会をより頻繁に設定してほしい。
- ・マンションに目安箱を設置する等、町会に対し意見を届ける仕組みがあれば、参加意識も向上し、町会への加入も促進するのではないか。

###### 【地域住民等】

- ・町会活動や地域の魅力、自身の町会加入の状況等を知ることが大事である。
- ・地域住民のコミュニティを活性化することで、解決できる地域課題があるのではないか。
- ・交通指導等、高齢者が生き生きと関われる取組は良いと思う。
- ・老若男女が一緒に参加できる、地域コミュニティのシステムがあるとよい。また、ボランティア活動をする者同士が交流する機会を設けると、活動の幅が広がる等、より良い効果が期待できる。

###### 【地域活動センター】

- ・地域活動センターにおける活動内容を、しっかりと広報すべきである。

###### 【地域活動団体】

- ・NPOの活動内容がわからないため、もっと広報してほしい。

## イ 指標

### 【町会加入率（％）】

- ・町会の活動状況や参加人数、参加者満足度という視点も重要である。
- ・町会加入率の目標を2％増とする根拠は何か。また、どのように実現していくのか。
- ・「地域コミュニティの活性化」＝「町会加入率」ではない。NPO やそれ以外の活動もある。

### 【その他】

- ・地域コミュニティが活性化しているか区民に直接聞いてみてはどうか。
- ・地域コミュニティに参加したいと考える人、そうは考えない人、どちらも存在することを認識しておいた方がよい。

## (2) 産業振興

### ア 今後3か年の方向性

#### 【商店街】

- ・商店街はインターネットと対峙するのではなく、対応していくべきである。
- ・各商店会の強みをアピールしてはどうか。「〇〇市」のように定期的な取組も、その一つだ。
- ・区内の商店街は、商店と住宅が混在している。商店のみで構成される商店街が形成されるよう、区が誘導してはどうか。
- ・商店街とスーパーマーケット、コンビニエンスストアとの融合を図ることはできないか。
- ・同業種の商店同士をつなぐマップを作成してはどうか。

#### 【産業】

- ・区と区民が誘致したいと考える産業や企業をアピールすべきである。
- ・企業と地域が、一緒になって行う活動があっても良い。
- ・印刷業や医療機器産業等の地域産業を、もっと周知すべきであり、地域産業への特化は、戦略的に必要である。
- ・同業種が集まる地域の見える化を図るべきだ。
- ・区内に多数ある名所や旧跡等の文化振興と合わせて、産業振興を進めてほしい。
- ・区のキャラクターと産業を結び付けると、まち全体が活性化するのではないか。
- ・他自治体と連携したイベントを開催してはどうか。
- ・大学や学生をターゲットとするなど、区の地域特性を活かした産業支援に力を入れても良い。

### 【その他】

- ・具体的な目標値を記載してほしい。

### イ 指標

#### 【創業支援セミナー受講者の満足度（％）】

- ・受講者の満足度より、創業に結び付いた方の件数や、創業した企業の継続数を指標化できないか。

#### 【商店会加入件数（件）】

- ・加入件数を把握するよりも、継続状況を把握するほうが重要である。
- ・商店の知名度や認知度を指標にできないか。

#### 【消費生活センターの研修受講者の満足度（％）】

- ・産業振興にこの指標を設定することは、疑問である。
- ・消費者の観点では、消費者被害を減らすことが最大の目的であり、最も重要である。

### 【その他】

- ・企業の税収を指標にしてはどうか。
- ・研修の満足度よりも、研修の意義を問うアンケートを、研修受講者に限らず広く実施してはどうか。

## （3）生涯学習、（4）文化振興、（5）スポーツ振興

### ア 今後3か年の方向性

#### 【生涯学習】

- ・大学の講座に参加できる仕組みがあるとおもしろい。
- ・大学同士の連携・交流を、もっとPRしてほしい。活動を区内広域に広げてほしい。
- ・図書館の利用時間の延長や環境の底上げをしてほしい。
- ・「文の京」を象徴するように、図書館の図書蔵書数を増やしてほしい。
- ・基礎レベルから専門レベルまで深められる講座を開催してほしい。また、長期的に学べる講座を設定してほしい。

#### 【文化振興】

- ・区民がプロデュースする講座を、PRを含め、充実してほしい。
- ・他自治体との違いがわかる、文化や歴史のまちを示すデータがあるとわかりやすい。
- ・ふるさと歴史館を活用した方がよい。
- ・東京ドームで開催されるイベントと連携した事業を展開できないか。
- ・サークル間の交流を深めることで、サークル参加者の文化への関心がより高まるのではないか。

- ・ポスターコンクールを、地域コミュニティの活性化等と結び付けることはできないか。

#### 【スポーツ振興】

- ・スポーツの楽しさを多くの人たちと共有するため、屋外でのパブリックビューイングを実施してほしい。
- ・区内にある野球博物館やサッカーミュージアム等の施設を、スポーツ振興に活用することはできないか。また、施設をより周知すべきである。
- ・スポーツ関係団体が講演を行う際に、本部を区内に置く意味を説明することで、区とそのスポーツとのつながりを知ることができ、スポーツへの理解も深まる。

#### 【その他】

- ・文化、芸術、スポーツに関する様々な事業が行われているが、参加するまでに一步が踏み出せないような人が、関心を持つような働き掛けが重要である。
- ・予算を含めて議論すべきである。
- ・生涯学習と文化振興は、他の施策と関連を持たせると、より魅力的な施策を展開できるのではないか。

### イ 指標

#### 【文化・芸術事業等参加者述べ人数（人）】

- ・「だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり」とあるが、指標の設定理由欄に、「各種運営団体参加者の高齢化・硬直化により、大幅な増加は見込めない」と記載があり、矛盾する。

#### 【芸術鑑賞事業等への来場者延べ人数（人）】

- ・魅力ある講座数を指標に設定できるとよい。
- ・「創造する活動の支援」とあるが、指標がイベントへの来場者数だけになっている。

#### 【森鷗外記念館の入館者満足度（％）】

- ・森鷗外記念館の入館者満足度は、指標に入れていただきたい。
- ・区を代表する文化人は多数いる。森鷗外に限定することに疑問がある。

#### 【その他】

- ・「住みたい街」と結び付く指標が設定できるとよい。
- ・文化人の在住数、大学教授等の在住数を指標にできないか。
- ・身近に参加できる健康体操教室やウォーキング教室の参加者数を指標にしてはどうか。
- ・予算が増えていれば、実施する事業の数も増え、事業の参加者が増えることは必然である。数ではなく、質（満足度）を測る指標を設定すべきである。

- ・講座受講者や施設利用者の満足度を把握する際には、区民と区民以外の者に分けて分析してはどうか。

## **(6) 観光、(7) 交流**

### **ア 今後3か年の方向性**

#### **【周知】**

- ・多くの自治体等と連携しているのはわかるが、その具体的内容を知らない。様々なツールを活用し、情報発信してほしい。
- ・「文京花の五大まつり」間でどのような連携をしているのか。広報面からの連携や共通イベントの開催等の工夫が必要ではないか。
- ・東京ドームやシビックホールの施設といった地域資源を、より周知すべきである。

#### **【観光、交流】**

- ・観光、交流事業を進めていく上では、海外と国内とではやり方が異なるため、きちんと整理した上で、進めていく必要がある。
- ・自治体間の協定等を活用し、観光・交流を進めるべきである。
- ・定期的なイベントの開催は、観光客増加の効果があると考ええる。
- ・地域連携を進める取組として、懸賞付きスタンプラリー等を近隣区等と行ってみてはどうか。
- ・「ゆかりのある」という定義がわからない。
- ・区内在住の留学生等の外国人に、観光ボランティアのスタッフとして協力してほしい。また、外国人向けに、文京区を紹介する講座を開設し、自国の人に訪問してもらうよう働き掛けてもらうことはできないか。
- ・町会がショートステイ等で訪れる外国人と交流する仕組みをつくり、地域との連携を図れることはできないか。
- ・区内の活動団体が行っている茶道やお花等の日本文化のイベントに、外国人を呼び込む仕掛けはできないか。
- ・交流活動を行っている留学生等の外国人を集め、発表会等のイベントを開催してはどうか。

#### **【民泊】**

- ・海外からの観光客や留学生のための宿泊場所を確保するため、規制緩和をしてはどうか。

### **イ 指標**

**【観光インフォメーションの相談件数及び観光協会ホームページのアクセス数(件)】**

- ・姉妹都市交流について知らない人は多い。積極的に周知を行い、アクセス数を増やす工夫が必要である。

**【全国自治体との交流件数（件）】**

- ・区民にとっての「ゆかり」というものの共通認識を図った上で、指標を検討してほしい。

**【その他】**

- ・都市連携に関する情報発信の取組状況を示す指標を設定できないか。
- ・姉妹都市や友好都市への観光客数を指標として把握できると、区民にとってもな染み深い都市になる。

## 4 まちづくり・環境

### (1) 住環境

#### ア 今後3か年の方向性

##### 【コミュニティバス】

- ・逆ルートを整備することで、利用が増えるのではないか。また、幼稚園関係者も多く利用するため、子どもの増加に伴い、本数を増やしてほしい。

##### 【自転車レーン】

- ・整備が途中で終わっているため、しっかり整備してほしい。
- ・整備場所を明確にし、利用者数がわかると利用しやすい。
- ・危険な場所を把握し、必要な対策を計画的に進めてほしい。
- ・レーン上に駐停車する自動車に対する対策は何かあるのか。駐車スペースを本来確保しなければならない。
- ・車道ではなく歩道に設ける方が、安全対策になるのではないか。

##### 【地域の魅力】

- ・公園の整備が進めば、高齢者や子育て世代が集う場所になる。街のあらゆるところに、公園を整備してほしい。
- ・緑化への取組を積極的に進めるべきである。
- ・坂道とBーぐるを融合した観光施策を展開できないか。
- ・空き家の撤去や再活用は、良好な景観づくりにも影響する。
- ・再開発事業と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との関連性はあるのか。
- ・「地域の魅力」は人によって受取方が違うため、具体性をもった発信・意識醸成を図るべきだ。

##### 【コミュニティゾーン】

- ・整備の目的が明確でない。

#### イ 指標

##### 【景観事前協議件数における良好な景観形成協議物件率(%)】

- ・「良好な景観」とは何か、定義を明らかにし、浸透させるべきだ。

##### 【生活関連経路に指定された区道のバリアフリー整備延長(m)】

- ・年間350mの整備は、利用者数や利用率、整備の順番等、どのような考え方に基づくものなのか。

##### 【その他】

- ・ふるさと納税の利用人数等を指標に活用できるのではないか。



## (2) 環境保護

### ア 今後3か年の方向性

#### 【地球温暖化対策】

- ・二酸化炭素排出量の削減に関する区の実施計画を、よりPRすべきである。
- ・区の施設や街路灯等における太陽光エネルギーの使用割合を周知すれば、省エネに対する区民の意識も変わるのではないかと。削減を考えるだけでなく、使用するエネルギー源を考えることも重要である。また、太陽光パネルや蓄電池等を活用すれば、災害対策にもなる。
- ・一般家庭へのLED器具の普及を推進すべきである。
- ・商店街における装飾灯や店内のLED化、省エネエアコンの活用について、都が補助金を出しているが、あまり知られていない。募集も早く終わってしまうため、使いやすい事業に見直されれば、LED化が進むかもしれない。
- ・二酸化炭素排出量の削減に対する事業者の実施計画や事業者に対する区の働き掛けとして、どのようなものがあるのか。

#### 【循環型社会】

- ・分別の徹底を図るなど、住民側に工夫を促す仕組みも必要である。
- ・小・中学校でコンポストを活用した家庭菜園をする等、資源の活用の工夫を図るべきである。
- ・一人一人がごみの分別に対する意識を持ち、「分別の厳格化」を図るべきである。

#### 【景観】

- ・街路灯のLED化を進める際には、街の環境に即したデザイン性のある電柱を設置する工夫をしていただきたい。
- ・ごみの収集時に使用するボックスが、街の景観を損ねていると感じることもある。

### イ 指標

#### 【区の事務事業における二酸化炭素排出指数 (t/100 m<sup>2</sup>)】

- ・単位 (t/100 m<sup>2</sup>) がわかりにくい。何%削減と表す方がわかりやすい。
- ・区内の企業や大学にも協力を仰ぎ、削減目標を拡大できないか。
- ・区立小・中学校の生ゴミ排出量や電力使用量を指標に加えられないか。

#### 【街路灯のLED器具設置数 (基)】

- ・わかりやすい指標である。治安の良い文京区のPRにもなる。

#### 【区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量 (g/人日)】

- ・生ごみの処理を促進させる取組の普及状況を指標にできないか。

#### 【その他】

- ・放射線量を指標化できないか。

### (3) 災害対策

#### ア 今後3か年の方向性

##### 【備蓄】

- ・備蓄物資の内容や保管場所を、見える化したらどうか。
- ・区民向けに、備蓄物資や避難所情報等をまとめた「文京区版避難セット」を販売してはどうか。

##### 【訓練・避難所】

- ・訓練をしなければ、本番には対応できない。様々なケースを想定し、訓練を行うことが重要である。
- ・各種団体が行う防災訓練の実施報告をきちんと行い、実質的な運営につなげてほしい。
- ・避難所の開設や運営方法等をしっかりまとめてほしい。

##### 【連携】

- ・企業や大学との連携を強化し、その内容をわかりやすく示してほしい。

##### 【要支援者】

- ・災害弱者に対する支援を徹底してほしい。また、地域住民の理解も深まるとよい。

##### 【意識・機会】

- ・様々なケースのシュミレーションを行い、近隣の方や学校単位、地域ごとで災害に備えることが重要である。
- ・誰もが防災に対することを学び、知識を更新していける機会を確保してほしい。

##### 【消防団・防災士等】

- ・消防団の活動をよりPRし、啓発してほしい。
- ・避難所運営を考えると、女性の防災士も増やしてほしい。
- ・防災士という資格を知らない人が多い。区の補助事業と合わせて、防災士の周知を行うと、資格保有者が増えるのではないか。
- ・防災を専門とする会社やNPOの設立を支援することはできないか。

#### イ 指標

##### 【区民防災組織及び中高層共同住宅等防災対策支援助成団体件数（件）】

- ・防災訓練は参加することに大きな意義がある。団体件数ではなく、訓練参加人数や訓練内容を重視すべきである。

##### 【その他】

- ・家庭での備蓄率を指標にできないか。

## **(4) 安全・防犯対策**

### **ア 今後3か年の方向性**

#### **【防犯対策】**

- ・安全・安心まちづくり推進地区と犯罪発生件数の関係は、どのような状況なのか。
- ・犯罪多発地区において、未指定の安全・安心まちづくり推進地区があれば、区から積極的に町会に働き掛けてほしい。
- ・町会は地域の防犯対策に取り組んでいるが、加入率が低い。
- ・子どもが被害に遭わないよう、登下校の見守りを大切にしてほしい。
- ・特殊詐欺が多発しているため、様々な工夫をし、注意喚起する機会を充実させてほしい。
- ・防犯対策の内容や効果について、共有できると良い。
- ・安全・安心まちづくり推進地区を構成する町会の取組やノウハウを、共有できると良い。
- ・犯罪が起りやすい地域をデータ化したり、安全・安心まちづくり推進地区の指定を受けた地区を見える化するとよい。
- ・防犯カメラの設置や維持には多くの費用を要するため、町会等で対応することが難しい。区で防犯カメラの設置を拡大してほしい。
- ・安全・安心なまちづくりの推進は、防災面においても重要である。

#### **【自転車】**

- ・子どもが自転車に乗り始める時期に、自転車運転に関する講習を受けられる機会があると良い。
- ・自転車運転免許を制度化してもいいほど、危険な運転をする自転車がある。
- ・駐輪場を拡充してほしい。
- ・放置自転車台数の地域別データがあると、自転車シェアリングの導入にも活用できる。

#### **【交通安全・事故防止】**

- ・幹線道路における事故を見かけるため、対策が必要である。
- ・バス利用者と自転車の事故を防止するためにも、バス停を設置する場所をよく考えてほしい。特に人が多く集まる場所では、各車両が駐車するスペースを十分確保してほしい。

## **イ 指標**

#### **【その他】**

- ・自転車運転免許証の所持数を指標にできないか。